

平成28年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅲ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領	1
1-1. 調査時点及び調査対象期間	
1-2. 調査対象	
1-3. 調査方法	
1-4. 回収状況	
第2章 概況	
2-1. 全体の動き	2
2-2. 業種別の動き	3
第3章 各判断項目回答割合	
3-1. 業況	6
3-2. 完成工事高・生産高・売上高	7
3-3. 在庫水準	8
3-4. 採算	8
3-5. 資金繰り	9
第4章 景況天気図	
4-1. 記号説明	10
4-2. 全業種DI値の状況	10
4-3. 業種別DI値の状況	11
第5章 産業別経営上の問題点	13
第6章 産業別設備投資の状況	14
第7章 業界の景気動向等その他のご意見	15

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成28年12月26日（月）～平成29年1月18日（水）
- (2) 調査対象期間：平成28年10月～12月期実施、及び平成29年1月～3月期見直し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（41件）、サービス業（44件）、の5業種159社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

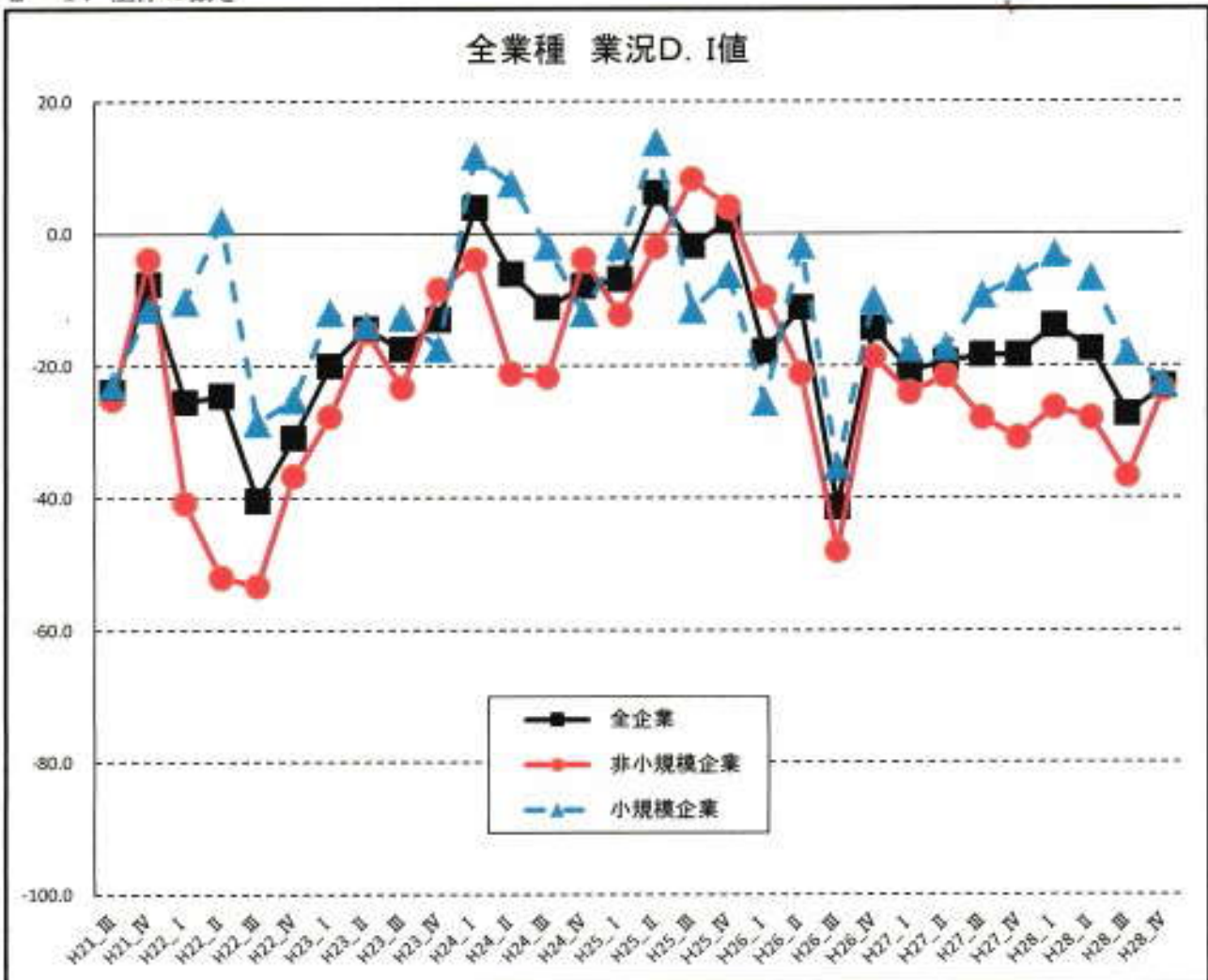
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	25件 (非小規模企業:12件) (小規模企業:13件)	83.3%
製造業		24件	18件 (非小規模企業:7件) (小規模企業:11件)	75.0%
卸売業		20件	17件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:7件)	85.0%
小売業		41件	31件 (非小規模企業:16件) (小規模企業:15件)	75.6%
サービス業		44件	32件 (非小規模企業:15件) (小規模企業:17件)	72.7%
合計		159件	123件	77.4%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業・小売業・サービス業は5人以下）を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で、景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成28年度第Ⅲ四半期<10月～12月>の業況は、前年同期比で「好転企業」12.4%、「悪化企業」39.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲27.3と前期に比べ9.9ポイント悪化しました。規模別でみると、小規模企業のD.I.値は同11.3ポイント悪化し▲18.0、非小規模企業は8.8ポイント悪化し▲36.7となりました。全体としては、11期連続のマイナス水準で、網走市における景気停滞感は依然として続いており、厳しい状況のもとに置かれています。

業種別でみた業況は、建設業が1.7ポイント改善して▲16.0、卸売業は5.9ポイント改善され▲29.4となったものの、他の3業種では業況の悪化が見られます。特に製造業は前期の▲21.1から23.3ポイント大幅に悪化し▲44.4、サービス業は20.0ポイント悪化し▲20.0、小売業は3.7ポイント悪化し▲32.3となりました。

次期<1月～3月>の業況判断D.I.は9.9ポイント悪化の▲23.1を予想しており、規模別でみると、小規模企業のD.I.値は▲22.6、非小規模企業は▲23.7となっており、小規模企業のD.I.値は前期から19.3ポイントも悪化している。業種別では建設業▲16.0(前回▲4.8)、製造業▲22.2(前回▲5.3)、卸売業▲31.3(前回▲35.3)、小売業▲41.9(前回▲14.3)、サービス業▲6.5(前回▲11.1)と全ての業種でマイナスとなっており、特に製造業、小売業では悪化が見込まれ、厳しい局面には変わりはない。

経営上の問題点としては、「人材不足」「諸経費増」「得意先減少」「売上の不振」「同業者間の競合」が上位を占めており、建設業とサービス業に加え、製造業でも「人材不足」が問題の首位となっています。また、「諸経費増」「売上の不振」が今回上位に上がっていることから、深刻な状況が推察されます。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	30.8 %	46.2 %	-15.4 ↘
非小規模企業	16.7 %	41.7 %	-25.0 ↘
全 体	24.0 %	44.0 %	-20.0 ↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	23.1 %	38.5 %	-15.4 ↘
非小規模企業	0.0 %	41.7 %	-41.7 ↘
全 体	12.0 %	40.0 %	-28.0 ↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値
業況	小規模企業	7.7 %	38.5 %	-30.8 ↘
	非小規模企業	8.3 %	8.3 %	0.0 →
	全 体	8.0 %	24.0 %	-16.0 ↘
完成工事高	小規模企業	15.4 %	38.5 %	-23.1 ↘
	非小規模企業	16.7 %	41.7 %	-25.0 ↘
	全 体	16.0 %	40.0 %	-24.0 ↘
資金繰り	小規模企業	7.7 %	23.1 %	-15.4 ↘
	非小規模企業	0.0 %	16.7 %	-16.7 ↘
	全 体	4.0 %	20.0 %	-16.0 ↘

(2) 製造業

■生産高

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	9.1 %	27.3 %	-18.2 ↘
非小規模企業	0.0 %	85.7 %	-85.7 ↘
全 体	5.6 %	50.0 %	-44.4 ↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	9.1 %	18.2 %	-9.1 ↘
非小規模企業	0.0 %	85.7 %	-85.7 ↘
全 体	5.6 %	44.4 %	-38.8 ↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値
業況	小規模企業	9.1 %	18.2 %	-9.1 ↘
	非小規模企業	14.3 %	57.1 %	-42.8 ↘
	全 体	11.1 %	33.3 %	-22.2 ↘
生産高	小規模企業	9.1 %	18.2 %	-9.1 ↘
	非小規模企業	14.3 %	57.1 %	-42.8 ↘
	全 体	11.1 %	33.3 %	-22.2 ↘
資金繰り	小規模企業	9.1 %	9.1 %	0.0 →
	非小規模企業	14.3 %	14.3 %	0.0 →
	全 体	11.1 %	11.1 %	0.0 →

(3)卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	14.3 %	57.1 %	-42.8 ↘
非小規模企業	20.0 %	40.0 %	-20.0 ↘
全 体	17.6 %	47.1 %	-29.5 ↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	0.0 %	28.6 %	-28.6 ↘
非小規模企業	10.0 %	50.0 %	-40.0 ↘
全 体	5.9 %	41.2 %	-35.3 ↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値
業況	小規模企業	0.0 %	16.7 %	-16.7 ↘
	非小規模企業	10.0 %	50.0 %	-40.0 ↘
	全 体	6.3 %	37.5 %	-31.2 ↘
売上高	小規模企業	0.0 %	14.3 %	-14.3 ↘
	非小規模企業	10.0 %	50.0 %	-40.0 ↘
	全 体	5.9 %	35.3 %	-29.4 ↘
資金繰り	小規模企業	14.3 %	57.1 %	-42.8 ↘
	非小規模企業	0.0 %	20.0 %	-20.0 ↘
	全 体	5.9 %	35.3 %	-29.4 ↘

(4)小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	20.0 %	33.3 %	-13.3 ↘
非小規模企業	31.3 %	50.0 %	-18.7 ↘
全 体	25.8 %	41.9 %	-16.1 ↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	13.3 %	40.0 %	-26.7 ↘
非小規模企業	18.8 %	62.5 %	-43.7 ↘
全 体	16.1 %	51.6 %	-35.5 ↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値
業況	小規模企業	0.0 %	46.7 %	-46.7 ↘
	非小規模企業	6.3 %	43.8 %	-37.5 ↘
	全 体	3.2 %	45.2 %	-42.0 ↘
売上高	小規模企業	13.3 %	46.7 %	-33.4 ↘
	非小規模企業	6.3 %	56.3 %	-50.0 ↘
	全 体	9.7 %	51.6 %	-41.9 ↘
資金繰り	小規模企業	0.0 %	33.3 %	-33.3 ↘
	非小規模企業	0.0 %	25.0 %	-25.0 ↘
	全 体	0.0 %	29.0 %	-29.0 ↘

(5) サービス業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	12.5 %	25.0 %	-12.5 ↓
非小規模企業	33.3 %	53.3 %	-20.0 ↓
全 体	22.6 %	38.7 %	-16.1 ↓

■採 算

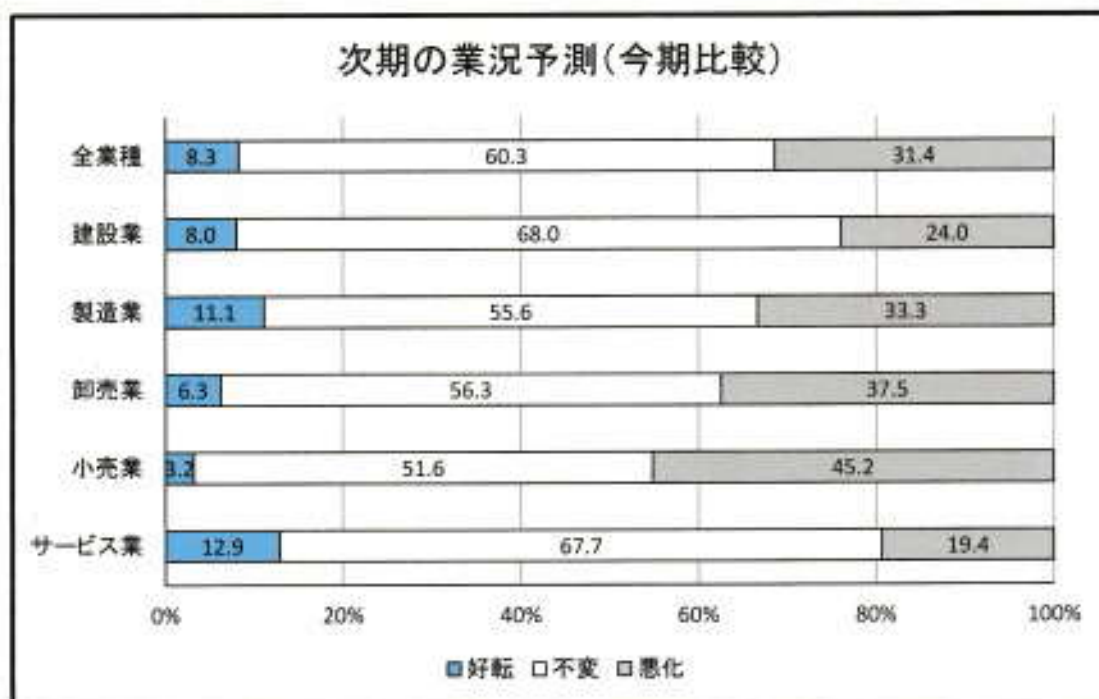
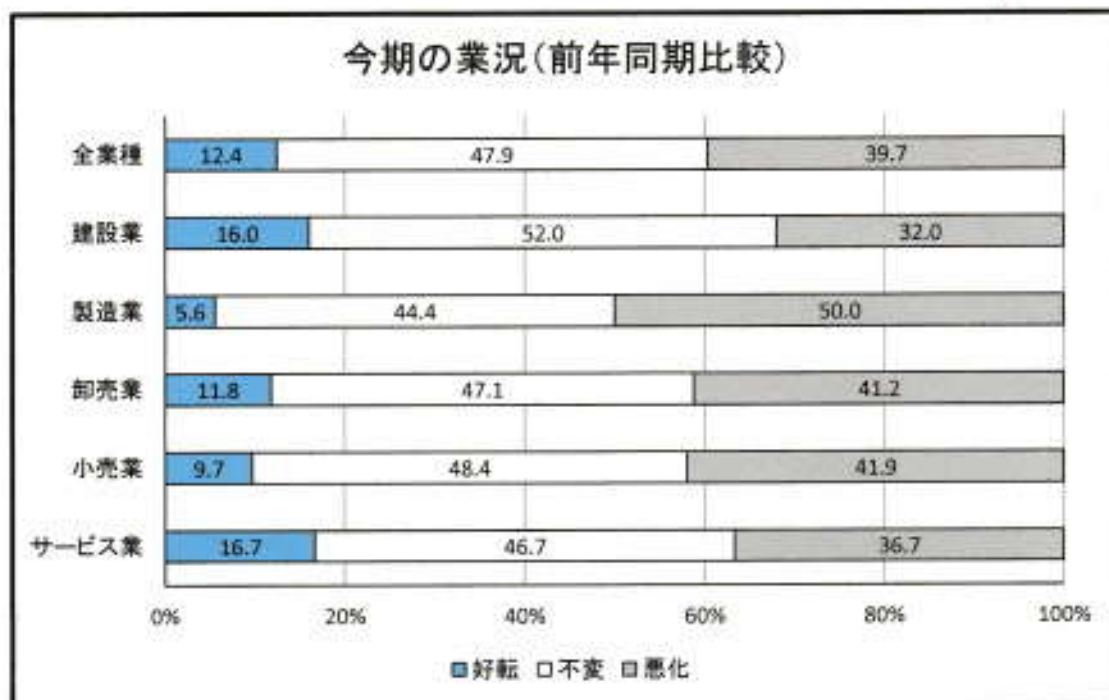
規 模	増 加	減 少	D.I.値
小規模企業	6.3 %	12.5 %	-6.2 ↓
非小規模企業	13.3 %	60.0 %	-46.7 ↓
全 体	9.7 %	35.5 %	-25.8 ↓

■次期の見通し

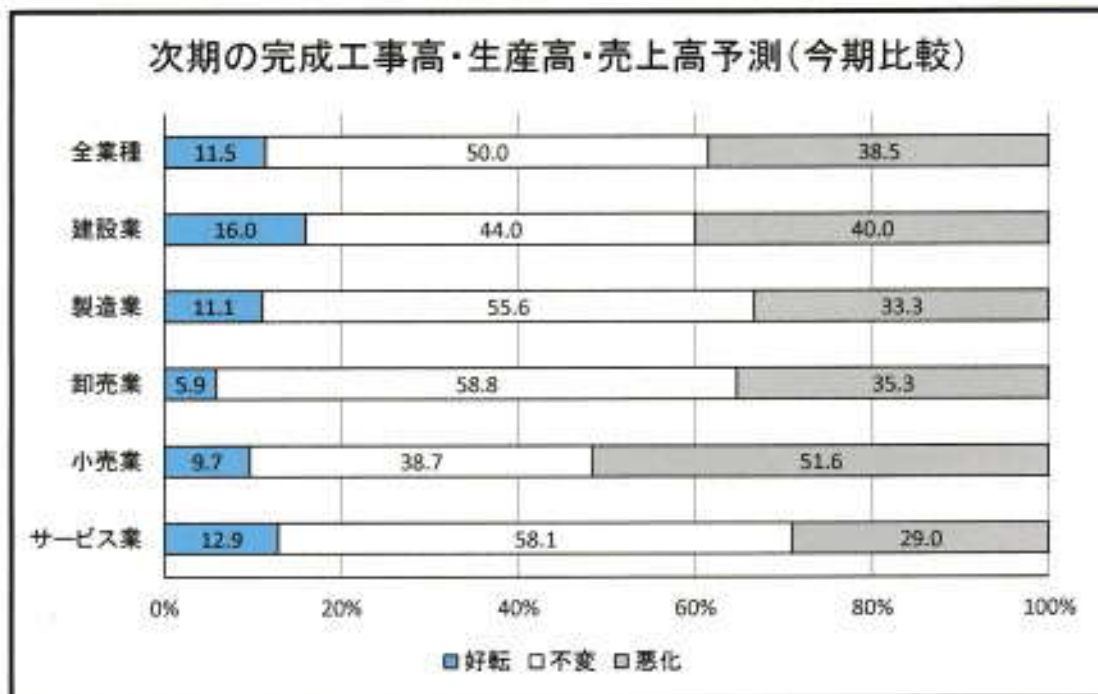
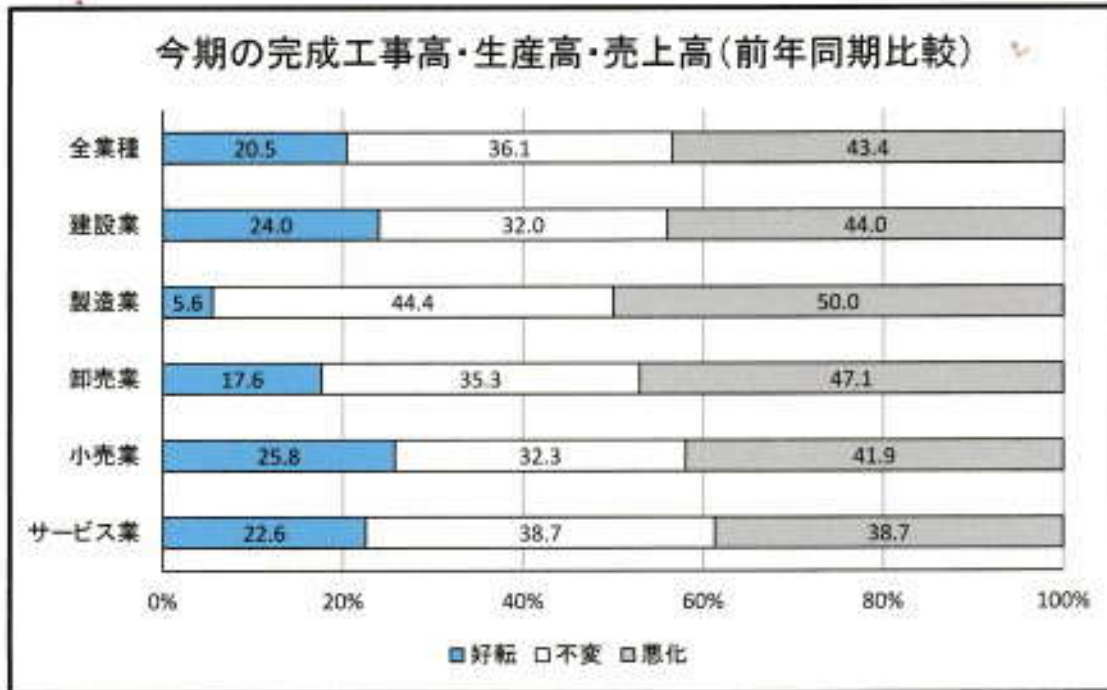
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値
業況	小規模企業	5.9 %	11.8 %	-5.9 ↓
	非小規模企業	21.4 %	28.6 %	-7.2 ↓
	全 体	12.9 %	19.4 %	-6.5 ↓
売上高	小規模企業	5.9 %	17.6 %	-11.7 ↓
	非小規模企業	21.4 %	42.9 %	-21.5 ↓
	全 体	12.9 %	29.0 %	-16.1 ↓
資金繰り	小規模企業	0.0 %	6.3 %	-6.3 ↓
	非小規模企業	13.3 %	6.7 %	6.6 ↓
	全 体	6.5 %	6.5 %	0.0 →

第3章 各判断項目回答割合

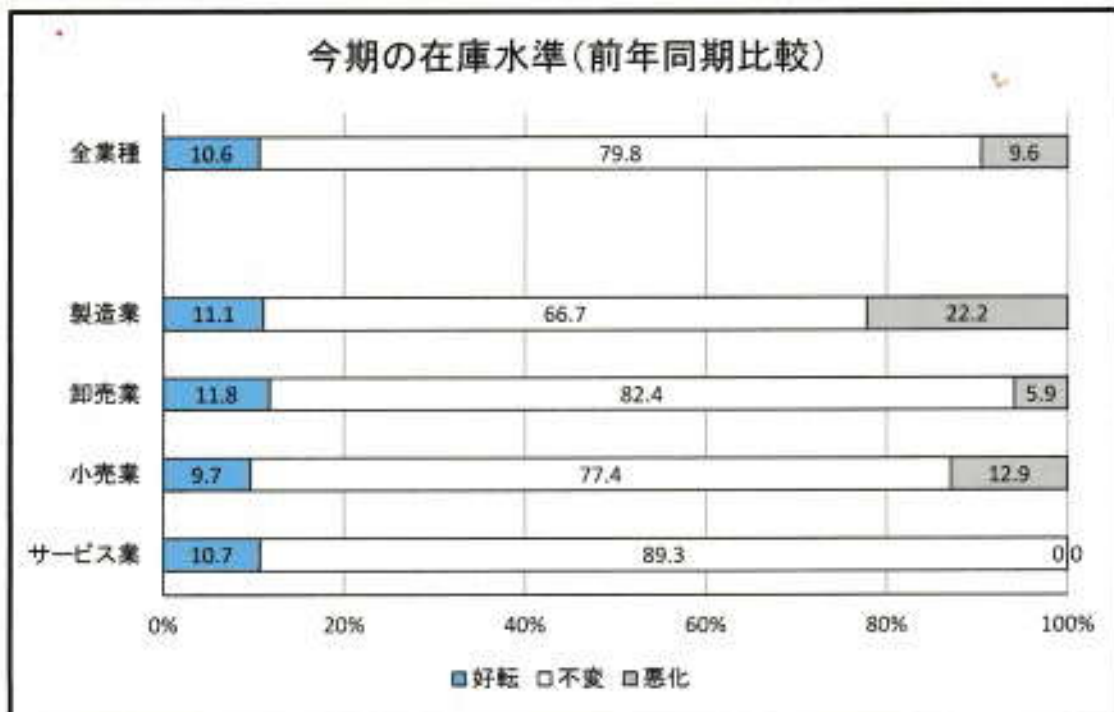
3-1. 業況



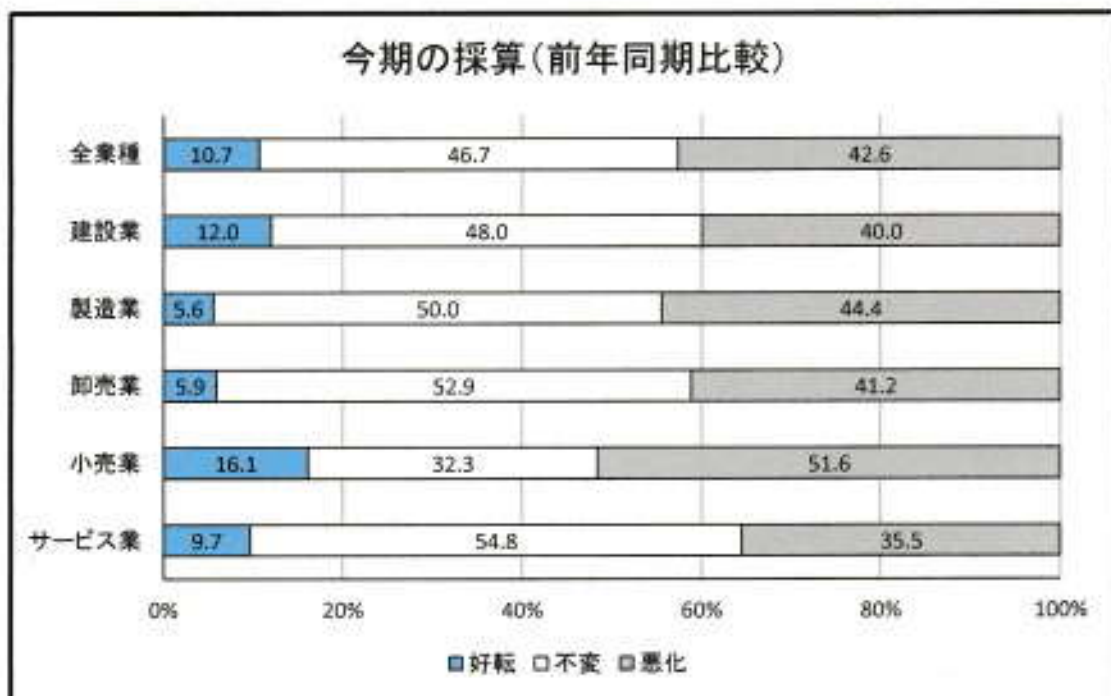
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



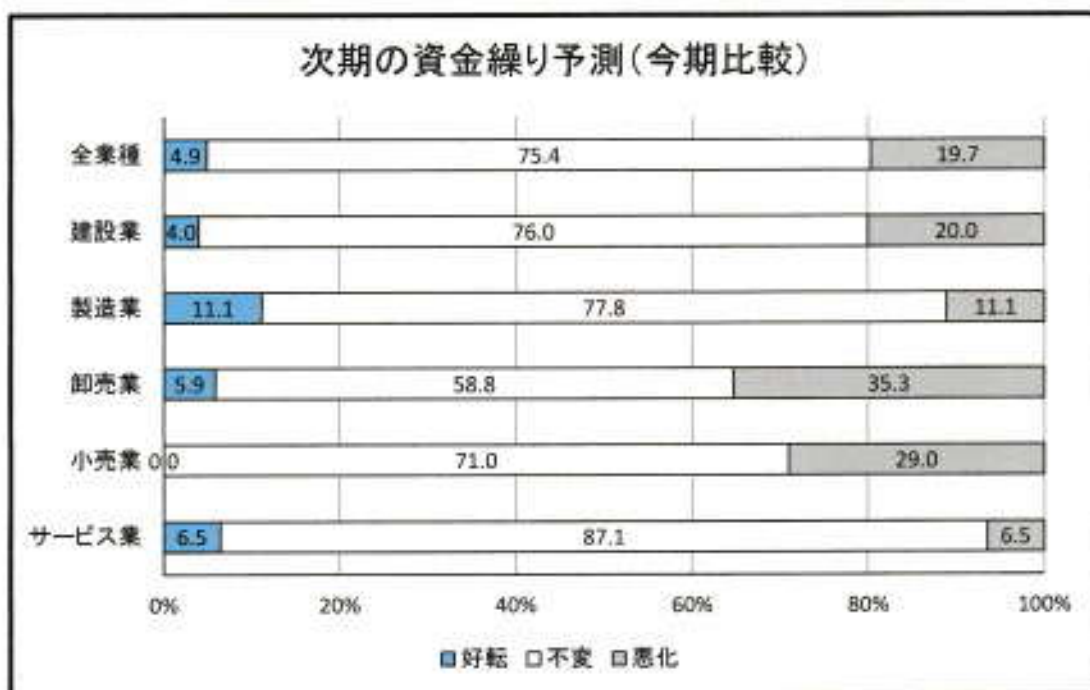
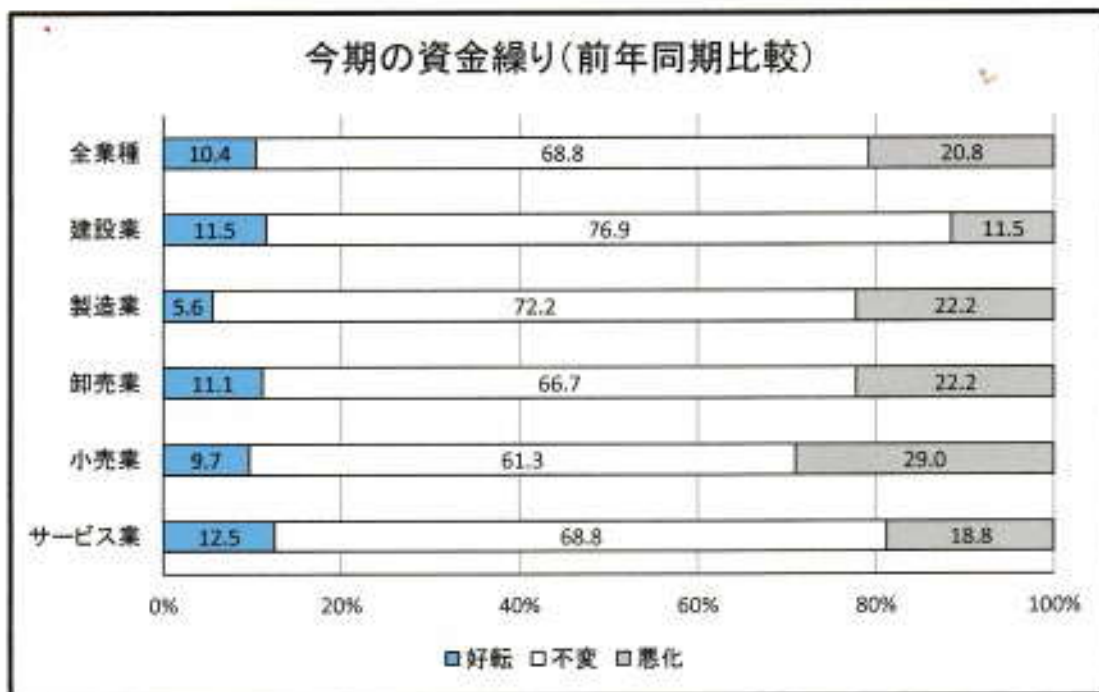
3-3. 在庫水準



3-4. 採算



3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)








好 調
(50 > D.I. ≥ 25)

まあまあ
(25 > D.I. ≥ 0)






















不 振
(0 > D.I. ≥ ▲25)















きわめて不振
(▲25 > D.I.)

4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 ▲ 27.3	 ▲ 23.1
売 上	 ▲ 23.0	 ▲ 27.0
採 算	 ▲ 32.0	/
資金繰り	 ▲ 7.4	 ▲ 14.8

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業況	 ▲ 16.0	 ▲ 16.0
	完成工事高	 ▲ 20.0	 ▲ 24.0
	採算	 ▲ 28.0	
	資金繰り	 4.0	 ▲ 16.0
製造業	業況	 ▲ 44.4	 ▲ 22.2
	生産高	 ▲ 44.4	 ▲ 22.2
	採算	 ▲ 38.9	
	資金繰り	 ▲ 16.7	 0.0
卸売業	業況	 ▲ 29.4	 ▲ 31.3
	売上	 ▲ 29.4	 ▲ 29.4
	採算	 ▲ 35.3	
	資金繰り	 ▲ 5.9	 ▲ 29.4

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小売業	業況	 ▲ 32.3	 ▲ 41.9
	売上	 ▲ 16.1	 ▲ 41.9
	採算	 ▲ 35.5	
	資金繰り	 ▲ 19.4	 ▲ 29.0
サービス業	業況	 ▲ 20.0	 ▲ 6.5
	売上	 ▲ 16.1	 ▲ 16.1
	採算	 ▲ 25.8	
	資金繰り	 0.0	 0.0

第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	売上の不振	諸経費増	人件費増 同業者間の競合	
製造業	人材不足	諸経費増 売上の不振		人件費増 得意先減少	
卸売業	同業者間の競合	人材不足 得意先減少		売上の不振	人件費増 資金調達困難 売掛金回収困難
小売業	得意先減少	諸経費増	人材不足	同業者間の競合 売上の不振	
サービス業	人材不足	諸経費増	得意先減少	売上の不振	人件費増
合 計	人材不足	諸経費増 得意先減少		売上の不振	同業者間の競合

第6章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	2件	8.0	2件	11.1	2件	11.8	6件	19.4	7件	22.6	19件	15.6
しない	23件	92.0	15件	83.3	13件	76.5	24件	77.4	24件	77.4	99件	81.1
無回答	-	-	1件	5.6	2件	11.8	1件	3.2	-	-	4件	3.3
合計	25件	100.0	18件	100.0	17件	100.0	31件	100.0	31件	100.0	122件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを示している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	-	-	-	-	-	0件
店舗	-	-	-	2件	2件	4件
販売設備	-	-	-	-	-	0件
車輛運搬具	2件	-	1件	3件	2件	8件
付帯設備	-	1件	1件	1件	3件	6件
OA機器	-	-	1件	2件	2件	5件
福利厚生施設	1件	-	-	-	1件	2件
その他	-	2件	-	1件	-	3件

※複数回答があるため、表6-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(2件記述有り)

・工具備品(製造業)、冷凍モーター(小売業)

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

(1) 業界の問題点について

【建設業】

- ・全体の工事の発注内容をみると災害復旧工事があったためそれなりの工事量であると思われ次年度以降不安を感じます。
- ・高齢化が進みつつあるので、若い人で建設関係に関心がある方がいれば、進路を決める時に検討してみたいと思います。

【製造業】

- ・加工原料不足による原料高。それに伴い利益率の低下。
- ・今年度のクリスマスの売り上げが伸びなかった。土曜・日曜の曜日のせいもあるだろうが思ってた以上に悪かった。
- ・先が読めない。

【卸売業】

- ・人口減による飲み口減が大きいと思われます。

【小売業】

- ・人口減・高齢化による施設等の入居増（空き家増）節約思考並びに新機種開発による省エネ機器出現他エネルギーへの転換（LPガス～電気）小規模業者間の編成の遅れ（危機意識の欠如）。
- ・人材不足。
- ・競争対策による広告費等増加
- ・国内客の減少に加え秋頃からインバウンドの減少が大きくキャンセルになり又、海産物によりD. Mの売上減が大きかった為、この業界の今後が見えない状況にある。
- ・諸経費に追い打ちをかけるように自動車燃料が高騰し大変な時がまた来るように思われる。

【サービス業】

- ・10月、11月の個人客が悪かった。昨年の旅行券等の補助金の影響が大きい。
- ・台風以降、客足が戻らずここ数年でも最低の稼働となった。
- ・経営の狙いや目標を明確にし、それに向かって一つ一つの努力することが重要だと思います。ただ、漠然とやっても好転は難しいのでは。例えば、高齢者にターゲットをしぼり、人にやさしい営業（接客）に務めるなど。目的のないところに、進歩・発展は見込めないと思うのですが…。あくまでも喫茶店経営で感じたことです。例えば、高齢者にターゲットをしぼり、人にやさしい営業（接客）に務めるなど。
- ・人材不足が一番の問題点です。高齢化。
- ・観光客の道東地域への来客の減少（年間）。
- ・広告宣伝において「おはき法」のしぼりがあるため民間資格者の治療院（整体師）のようなチラシ広告やポスティングが行えない。
開業して数年の間は、集客に大変苦勞するため安定した事業となるのが難しいと感じる。
- ・今年は台風や吹雪による影響が大きかったと思われる。